

【支部総会報告】

兵庫支部 学術講演・総会報告

通信員 吉田隆人(大6回生)

2023年2月4日(土)に2022年度京都医療科学大学学友会 兵庫支部総会が開催されました。

昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮してZoomを用いたWeb開催となりましたが、学術講演としてメーカー講演3社・一般講演3演題、その後支部総会も行われ、例年通りの充実した内容となりました。全国各支部および学生など合わせて82名のご登録をいただきました。

学術講演は、司会の村上智裕氏(大6回生)、座長の西田高大氏(短13回生)と奥好仁氏(短14回生)の進行にて行われました。まず、メーカー情報提供として3社の方々の講演でした。日本メジフィジクス株式会社の牧尾茂徳氏からは「虚血評価における心筋血流シンチの特徴」と題して、心筋血流シンチグラフィについて分かりやすくご紹介いただきました。MRIと心筋血流シンチグラフィの使い分けなどについて質問がありました。株式会社島津製作所医用グローバルマーケティング部の飯沼正雄氏からは「新製品島津外科用X線テレビジョン装置 OPESCOPE ACTENO FDtypeのご紹介」と題して、新型の外科用Cアーム装置についてご紹介いただき、従来の装置と比較して機動性に優れ、手術台との干渉が軽減されるなど、非常に使い勝手の良い装置とのことで興味深い内容でした。ハートフロー・ジャパン合同会社カスタマーサクセスの山田かおり氏からは「FFRCT ～心臓CTで今、何がわかるのか～」と題して、2018年12月よりわが国でも保険償還され、近年急速に使用施設が増えているFFRCTについて基礎からわかりやすくご紹介いただきました。

次に一般講演として、神戸市立医療センター中央市民病院の伊勢聖大氏(大9回生)から「当施設の脳血管造影について」と題して、3D撮影時の造影剤注入量の考え方など明日からの臨床に役立つ内容から、フローダイバーターシステムなどの新しい技術も含めて講演いただきました。加古川中央市民病院の三木克仁氏(短16回生)からは「当院におけるSyncTraX(FX4 version)を用いた肺定位照射について」と題して、肺定位照射の基礎的な内容や経験症例についてなど幅広い内容で講演いただきました。臨床に直結する内容が多く、非常に濃い内容でした。吉田隆人(大6回生)から「意外と気付かない！？一般撮影に潜む落とし穴」と題して、手関節撮影について肘関節解剖に着目して基礎的な内容で講演いたしました。

学術講演の後には支部総会が行われ、兵庫支部会員のみならず他支部の支部長や大学関係者にもご参加いただきました。神澤匡数兵庫支部長(短7回生)の挨拶から始まり、玉田彰会長(53回生)や各支部の支部長様からもご挨拶いただきました。

遠藤啓吾学長からビデオメッセージ、鈴木英文事務局長からは大学の近況報告をいただきました。

最後になりますが、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。今回も全国から幅広い年齢層の卒業生にご参加いただき、非常に嬉しく思っております。来年以降の開催方式は未定ですが、現地開催とWeb開催のそれぞれのメリットを踏まえて今後兵庫支部役員にて協議を重ねていきます。

来年以降も皆様のご参加楽しみにお待ちしております。



以上